

## 評価・FD 研究部門 事業報告

### 1. はじめに

評価・FD研究部門は、全学教務委員会の評価・FD教育改善専門部会の下で、「学生による授業評価」および「長崎大学FD・SD」の事業を行っている。以下、その実施概要を報告する。

設問 5	自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
設問 6	自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
設問 7	総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

### 2. 平成23年度『学生による授業評価』実施状況

#### 2.1 概要

長崎大学では、平成14年度から全授業科目を対象として『学生による授業評価』を実施している。本学では、『学生による授業評価』を総括的に捉えるために表1のような全学共通項目を設けている。この全学共通項目に加え、教養教育（1～2年次生）においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー（評価項目の集まり）として設定している。さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできるようになっている。また、学生の選択肢は全ての設問に共通で表2のようになっている。なお、本紀要の執筆時において、平成24年度後期の授業評価を実施中であるため、平成23年度の授業評価について報告するものとする。

表2 学生の選択肢

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらともいえない
どちらかといえばそう思わない
そう思わない

#### 2.2 受付状況および実施状況

平成23年度の受付状況および実施状況は表3に示す通りである。なお、平成23年度より、全科目ではなく各教員の希望科目（年1科目以上）について授業評価を行っている。

表3 平成23年度の受付状況および実施状況

受付件数	840件
実施件数	783件
実施率(%)	93.2%

表1 全学共通項目

設問 1	シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
設問 2	授業は目的達成のため計画的に進められた。
設問 3	授業担当者の教え方は適切だった。
設問 4	授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行った。

表3よりわかる通り、平成23年度においては840件の申し込みがあり、事前の取り消しや未実施のものを除くと783件が実施された。また、実施率（実施件数／受付件数）は93.2%であった。

#### 2.3 参考資料

- [1] 長崎大学公式ページ『大学点検・評価』→『学生による授業評価』：  
[http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln\\_jug\\_hyoka.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln_jug_hyoka.html)
- [2] 長崎大学大学教育機能開発センター公式ページ『授業評価』：  
[http://www.redc.nagasaki-u.ac.jp/teaching\\_valuation/index.html](http://www.redc.nagasaki-u.ac.jp/teaching_valuation/index.html)

### 3. 平成 24 年に実施した長崎大学 FD・SD

当部門は、教務委員会の評価・FD 教育改善専門部会と協力しながら「長崎大学 FD・SD」の企画・運営を行っている。ここでは、平成 24 年 1 月から同年 12 月にかけて全教職員または全教員を対象に実施された集合研修について報告する。

#### 3.1 モジュール科目実施説明会

##### (アクティブラーニング事例研修)

##### (1) 趣旨

平成 24 年度より開始する新しい教養教育で求められる教育方法について、本学でのアクティブラーニング実践事例をもとに理解を深め、担当教員の授業設計に役立つことを願って実施した。

##### (2) 対象

全学モジュールのテーマ責任者および科目担当者（授業者全員を含む）

なお、教育革新シンポジウム（平成 23 年 12 月 17 日）の出席者は以下のプログラムのいずれか 1 回、欠席者はいずれか 2 回を選んで参加いただいた。

##### (3) 日時と場所

平成 24 年 1 月 5 日（木）16:00～17:30

プログラム① 全学教育棟 204 室

平成 24 年 2 月 28 日（火）16:00～17:30

プログラム② 全学教育棟 201 室

平成 24 年 3 月 19 日（月）16:00～17:30

プログラム③ 全学教育棟 201 室

##### (4) 参加数

プログラム① 113 名

プログラム② 131 名

プログラム③ 100 名

#### (5) プログラム

時間	内容	講師
<b>1 月 5 日（木） プログラム①</b>		
16:00～ 16:05	開会挨拶	橋本健夫 副学長
16:05～ 16:30	新たな教養教育について	橋本健夫 副学長 山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)
16:30～ 17:00	アクティブラーニング事例報告	丹羽量久 教授 (情報メディア基盤センター)
17:00～ 17:30	質疑応答	
<b>2 月 28 日（火） プログラム②</b>		
16:00～ 16:05	開会挨拶	橋本健夫 副学長
16:05～ 16:30	新たな教養教育について	橋本健夫 副学長 山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)
16:30～ 17:00	アクティブラーニング事例報告	西村宣彦 准教授 (経済学部)
17:00～ 17:30	質疑応答	
<b>3 月 19 日（月） プログラム③</b>		
16:00～ 16:05	開会挨拶	橋本健夫 副学長
16:05～ 16:30	新たな教養教育について	橋本健夫 副学長 山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)
16:30～ 17:00	アクティブラーニング事例報告	安武 亨 教授 (医歯薬学総合研究科)
17:00～ 17:30	質疑応答	

#### (6) 付記

各プログラムでの事例報告は、学内オンデマンド視聴ができるよう編集中心である。

### 3.2 WebClass 活用入門

(1) 趣旨

本学の学習管理システム WebClass の使い方を習得し、授業設計に役立てていただくことを目的として実施した。WebClass の活用によって、教材の配布や蓄積が容易になるだけでなく、学生の自学自習や教員の学習評価の支援が可能となることが期待された。

(2) 対象

全教職員（非常勤を含む）

(3) 日時

平成 24 年 2 月 28 日（火）14:00～15:30

WebClass 活用入門①

平成 24 年 3 月 19 日（月）10:30～12:00

WebClass 活用入門②

（WebClass 活用入門①と②は同内容）

(4) 場所

情報メディア基盤センター・第二端末室

(5) 参加数

WebClass 活用入門① 18 名

WebClass 活用入門② 24 名

(6) プログラム

時間	内容	講師
<b>2 月 28 日（木） WebClass 活用入門①</b>		
14:00～15:30	活用法の演習	丸田英徳 助教 (情報メディア基盤センター)
<b>3 月 19 日（月） WebClass 活用入門②</b>		
10:30～12:00	活用法の演習	野崎剛一 教授 上繁義史 准教授 (情報メディア基盤センター)

### 3.3 FD・SD スプリングワークショップ

(1) 趣旨

長崎大学の学士課程教育の充実に向けて、学生主体の学習形態（アクティブ・ラーニング）を様々な工夫していくことが求められている。そこで、このスプリングワークショップでは、授業でディベートを活用して思考力を高める方法と、学生の批判的思考力を評価し育成する方法の 2 つのプログラムを用意した。いずれも体験的な活動を通して習得を進めるため、3 時間～3 時間半の時間を設

定した。

①ワークショップ A 「授業におけるディベート活用法」

論理的思考を深め、情報収集と分析を手際よく遂行して説得力あるプレゼンテーションをするためには、ディベートの導入が効果的と考えられる。そこで、ディベート教育の第一人者である松本茂氏（立教大学経営学部・教授）を講師として招き、授業におけるディベート活用の基本を体験的に習得した。

②ワークショップ B 「批判的思考力の評価と育成法」

批判的思考力は学士力や社会人基礎力の基盤をなすが、その育成は容易ではない。そこで、批判的思考力の評価測度や教材の開発に関わってこられ、また多様な教育事例に通じておられる楠見孝氏（京都大学大学院教育学研究科・教授）を講師として招き、授業で批判的思考力を高めるための具体的な方法を習得した。

(2) 対象

全教職員（非常勤を含む）

(3) 日時

平成 24 年 3 月 13 日（火）13:00～16:30

ワークショップ A

平成 24 年 3 月 29 日（木）13:00～16:00

ワークショップ B

(4) 場所

教育学部 401 室（41 番教室）

(5) 参加数

ワークショップ A 16 名

ワークショップ B 15 名

(6) プログラム

時間	内容	講師
<b>3 月 13 日（火） ワークショップ A</b>		
13:00～16:30	ディベート活用の演習	松本茂氏 (立教大学経営学部・教授)
<b>3 月 29 日（木） ワークショップ B</b>		
13:00～16:00	批判的思考力育成の演習	楠見孝氏 (京都大学大学院教育学研究科・教授)

(7) 付記

各ワークショップの講義部分は、学内オンデマンド視聴ができるよう編集中である。

3.4 新任教職員研修「ウェルカム・ガイダンス」

(1) 趣旨

新任の教職員を対象に、長崎大学で職務を開始するにあたってのガイダンスを、例年同様二日間に亘って行った。1日目は、長崎大学が目ざす教育、研究、社会貢献等に関する基本的知識を得ることが目ざされた。2日目は、歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行い、長崎大学にかかわる歴史を知って本学への帰属意識を深めることが目指された。

(2) 対象

平成23年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

第1日 第1部「長崎大学が目指すもの」

第2部「長崎大学の教育支援」

(3) 日時

平成24年4月3日(火) 13:00~16:40

(4) 場所

事務局第2会議室

(5) 参加数

第1部 60名

第2部 42名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:10	集合・写真撮影	
13:15~13:20	挨拶	佐久間正 理事 (教学担当)
<b>第1部「長崎大学が目指すもの」</b>		
13:20~14:00	「長崎大学の課題と展望」	片峰 茂 学長
14:00~14:20	「大学教育の改革は喫緊の課題」	佐久間正 理事 (教学担当)
14:20~14:40	「長崎大学の研究状況について」	調 漸 理事 (研究・社会貢献担当)

14:40~15:00	「長崎大学の入試～入試からみた長大生～」	山口恭弘 副学長 (入試担当)
15:00~15:10	休憩	
<b>第2部「長崎大学の教育支援」</b>		
15:10~15:35	「教育マネジメントとFD」	山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)
15:35~16:00	「ICTによる教育支援」	野崎剛一 教授 (情報メディア基盤センター)
16:00~16:25	「図書館のサービス」	山本知美 主査 (附属図書館)
16:25~16:40	質疑応答・まとめ	

第2日 第3部「長崎大学歴史散歩—150年をふりかえる」

(3) 日時

平成24年4月4日(水) 13:00~17:30

(4) 場所

長崎大学(文教・片淵・坂本各キャンパス)

(5) 参加数

第3部 35名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:05	挨拶	佐久間正 理事 (教学担当)
<b>文教キャンパス歴史散歩</b>		
13:15~14:20	三菱長崎兵器製作所の碑	橋本健夫 学長特別補佐
	長崎師範学校原爆慰霊碑	
	中部講堂	高橋正克 教授 (大学教育機能開発センター)
	「若人」の像	
	環境科学部正門前(旧教養部建物)	
下村脩名誉博士顕彰記念館(薬学部)	池田理恵 助教 (医歯薬学総合研究科)	
お薬の歴史資料館(薬学部)		

休憩・バス移動		
片淵キャンパス歴史散歩		
14:50~ 16:05	拱橋 (こまねきばし)	村田省三 教授 (経済学部)
	長崎高商門標	
	瓊林会館	
	赤レンガ倉庫	赤石孝次 教授 (経済学部)
	特別講演「高商 100 年と武藤文庫」	
武藤文庫展示室	宮脇千幸 主査 (学術情報部)	
休憩・バス移動		
坂本キャンパス歴史散歩		
16:25~ 17:25	近代医学史料展示室 (附属図書館医学分館)	志波原智美 主査 (学術情報部)
	熱帯医学ミュージアム (熱帯医学研究所)	堀尾政博 教授 (熱帯医学研究所)
	原爆医学資料展示室 (原爆後障害医療研究施設 2 号館)	三根真理子 教授 (核兵器廃絶研究センター)
17:25~ 17:30	まとめ	山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)

### 3.5 特別講演会「終末期を迎えた戦後日本の大学」

#### (1) 趣旨

本学を取り巻く社会状況をあらためて振り返り、大学が脱皮すべき方向について共に理解を深めるために、日本学術振興会理事長・安西祐一郎氏の特別講演を行った。安西氏は、過去 20 年の大きな社会変動にもかかわらず、大学には十分な時代対応がなく若者の教育をないがしろにしてきたのではないかとの反省のもとに、喫緊の改革課題を整理して示された。

#### (2) 対象

全教職員・学生・学外の大学関係者

#### (3) 日時

平成 24 年 6 月 25 日 (月) 16:20~17:20

#### (4) 場所

中部講堂

#### (5) 参加数

302 名

### (6) プログラム

時間	内容	講師
16:20~ 16:30	開会挨拶	片峰 茂 学長
16:30~ 17:15	講演「終末期を迎えた戦後日本の大学」	安西祐一郎氏 (日本学術振興会・理事長)
17:15~ 17:20	閉会挨拶	佐久間正 理事 (教学担当)

### (7) 付記

本講演会の内容は、学内オンデマンド視聴ができるよう編集中である。

### 3.6 教育革新シンポジウム「アクティブラーニングの勘所」

#### (1) 趣旨

平成 24 年度より、ジェネリックスキル育成を目標に長崎大学の教養教育は大きく変貌した。また大学教育をめぐる情勢としても、平成 24 年 3 月に中央教育審議会大学分科会の審議まとめ「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」で示されたように、学生の自学自習時間の確保に焦点をおきつつ更なるアクティブラーニングの充実が求められている。

そこで本シンポジウムは、後期からの全学モジュール科目開始に合わせて、アクティブラーニングのエッセンスを共有するために企画された。第 1 部では、大学だけでなく産業界や政府関係機関でも指導経験が豊富で評価の高い羽根拓也氏 (株式会社アクティブラーニング) をお迎えし、アクティブラーニングの指導法を分かり易く紹介していただいた。第 2 部では、本学でアクティブラーニングを実践されている教員 2 名から事例報告を行い、その後全体討論を行った。

#### (2) 対象

全教職員 (とくに教養教育担当者)

#### (3) 日時

平成 24 年 7 月 14 日 (土) 13:30~17:15

#### (4) 場所

教養教育講義棟 102 室

#### (5) 参加数

72 名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:30~ 13:40	開会挨拶	片峰 茂 学長
<b>第1部</b>		
13:40~ 15:10	基調講演「アクティブラーニング指導法」	羽根拓也氏 (株式会社アクティブラーニング・代表取締役社長)
15:10~ 15:25	質疑応答	
15:25~ 15:40	休憩	
<b>第2部</b>		
15:40~ 16:05	事例報告1「外国語教育におけるアクティブラーニング事例」	劉 卿美 准教授 (言語教育研究センター)
16:05~ 16:30	事例報告2「看護教育におけるアクティブラーニング事例」	花田裕子 教授 (医歯薬学総合研究科)
16:30~ 17:10	全体討論	司会：橋本健夫 学長特別補佐 (大学教育機能開発センター副センター長)
17:10~ 17:15	閉会挨拶	佐久間正 理事 (教学担当)

(7) 付記

本シンポジウムの基調講演は、学内オンデマンド視聴ができるよう編集中である。

3.7 FD・SD サマーワークショップ

(1) 趣旨

本ワークショップ・シリーズは、長崎大学の教職員が授業改善やコミュニケーション、教育支援等において十分に持ち味を生かせるようになることを目指して、毎年実施されている。ニーズの高い内容を精選し、実践にすぐにつながる学習形態を取り入れて、後期からの業務や授業の改善に効果が期待できるプログラム構成を試みている。

(2) 対象

全教職員（非常勤を含む）

(3) 日時

平成24年8月27日（月）14:00-17:00  
 8月28日（火）14:00-17:30  
 8月30日（木）10:00-12:00  
 8月30日（木）14:00-17:00  
 8月31日（金）10:00-12:15  
 9月26日（水）10:00-12:00  
 9月27日（木）10:00-12:00  
 9月28日（金）10:00-12:30  
 9月28日（金）14:00-17:00

(4) 場所

文教キャンパス内

(5) 参加数

133名（延べ数）

(6) プログラム

時間	内容	講師
<b>8月27日（月）</b>		
14:00~ 17:00	①アクティブ・ラーニング講座5A 「クリティカル・リーディングとは」	有元秀文氏 (元国立教育政策研究所・総括研究官)
<b>8月28日（火）</b>		
14:00~ 17:30	②アクティブ・ラーニング講座5B 「フィールドワークを取り入れる」	増田 研 准教授 (環境科学部)
<b>8月30日（木）</b>		
10:00~ 12:00	③新人教員のための授業創造入門	山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)
14:00~ 17:00	④コミュニケーション・スキルアップ 「わかりやすい話し方のコツ」	小田切めぐみ氏 (東京農工大学・非常勤講師)
<b>8月31日（金）</b>		
10:00~ 12:15	⑤授業改善のためのクリッカーシステム -入門編-	井上大輔氏 (キーパッド・ジャパン株式会社) 上繁義史 准教授 (情報メディア基盤センター)

事業報告

9月26日(水)		
10:00~ 12:00	⑥アクティブラーニング事例報告	村上裕人 准教授 (工学部) 山地弘起 准教授 (大学教育機能開発センター)
9月27日(木)		
10:00~ 12:00	⑦授業改善のためのクリッカーシステムー活用編ー	末本哲雄氏 (大分大学高等教育開発センター・講師)
9月28日(金)		
10:00~ 12:30	⑧学生とともに進める教育改善	「学生による教育改善のための協議会」メンバー 評価・FD 教育改善専門部会委員
14:00~ 17:00	⑨アクティブラーニング講座5C 「自己調整学習を促すには」	中西良文氏 (三重大学教育学部・准教授)

(7) 付記

アクティブラーニング講座とアクティブラーニング事例報告は、学内オンデマンド視聴ができるよう編集中である。

4. おわりに

本稿では、大学教育機能開発センターの評価・FD 研究部門が関わる2つの事業「学生による授業評価」と「長崎大学 FD・SD」について、平成24年の実施概要を報告した。